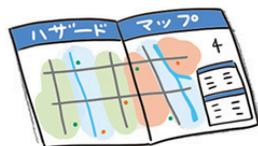


ほけんだより 9月号 がっごう

2025年9月
愛川中学校
保健室

2学期がスタートし、1週間経ちました。どんな夏休みを過ごしましたか？勉強を頑張った人、部活を頑張った人、健康に過ごすよう頑張った人、さまざまだと思います。新学期スタート直後は心身ともに疲れやすいので、無理をせず、ゆっくり自分のペースで過ごしましょう！

防災の日 知ってる？



ハザードマップ

「ハザードマップ」という言葉を知っていますか？

「ハザードマップ」とは、台風や地震など自然災害による被害を軽減したり、防災対策に役立てたりするために、被災想定区域や避難場所・避難経路などを表示した地図です。



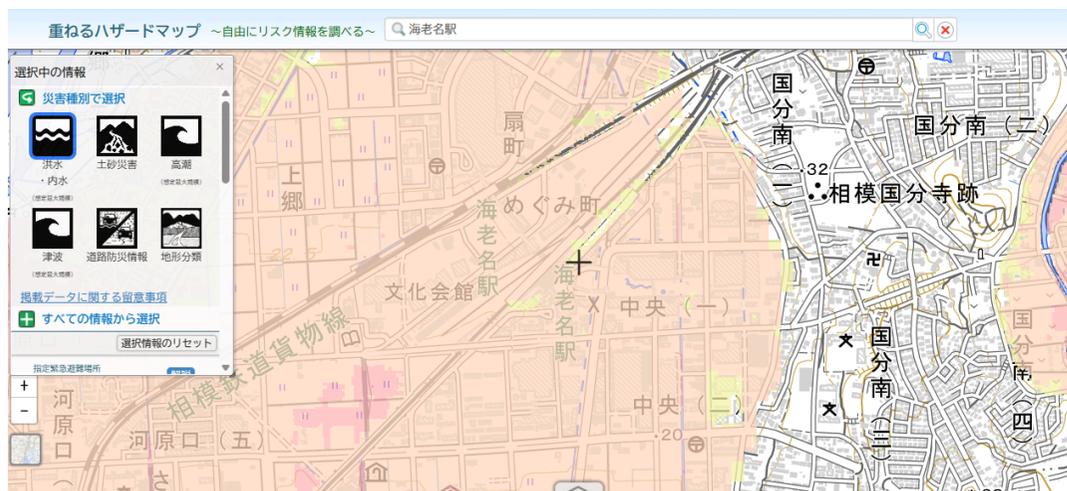
たとえば、台風や大雨の影響で川が氾濫したり、浸水したりする恐れがある地域では、水害のリスクや避難場所などの情報が載っています。そのほか、土砂崩れや津波などのハザードマップには、注意すべき場所や避難経路などの情報があります。

「天災は忘れたころにやってくる」という言葉もあります。いざというとき、冷静に行動できるように、自治体のホームページや広報などで、自分の住む地域のハザードマップを確認しておきましょう。

重ねるハザードマップ



住所を入力すると、その地点の災害リスクを調べることができます。



◀例
海老名駅周辺

▼ぜひ調べて
みてください！



『もしも』のための基礎知識

消火器の使い方

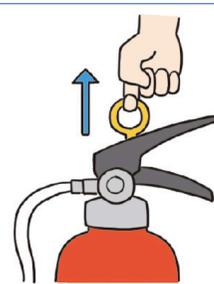


1



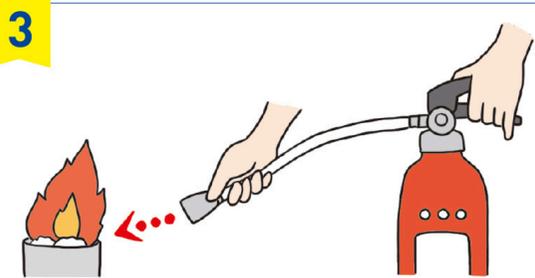
避難路を確保したうえで火災発生場所に消火器を運び、燃えている物から火の高さの2～3倍程度の距離を取る。

2



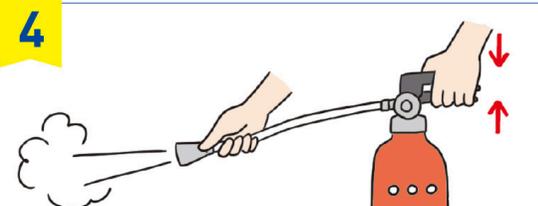
安全ピンを上に向かって強く引き抜き、レバーが握れる状態にする。

3



ホースの先端（ノズル）をしっかり持ち、消火器本体からはずして火元に向ける。

4



レバーを強く握り、消火薬剤を放射する。ホースが振られることがあるのでノズルをしっかりと握り、手前からほうきで掃くように操作する。

※天井に炎が届いた時点で消火器による初期消火はできないと判断して中止し、最初に確保した避難路を通して避難します。

火災を発見したらすぐに大きな声で周囲の人に知らせ、なるべく大勢で協力して119番通報・初期消火・避難誘導を行うことが基本です。みなさんが直接、消火活動に参加する機会は多くないと思われませんが、『もしも』のために、ぜひ覚えておいてください。

台風の接近が予想される時は

風で飛ばされそうなものは、室内に入れるか固定する

避難経路や避難場所、連絡方法などを家族で話し合っておく

備蓄品を確認し、非常持ち出し袋も準備しておく

最新の気象情報や避難情報をこまめにチェックする